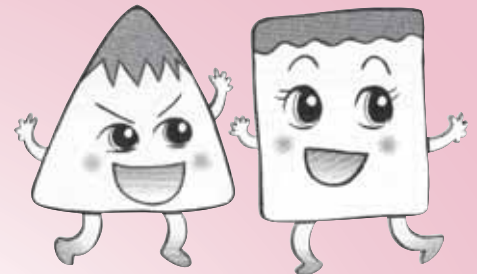


《特集》

「ファミリー
フレンドリー企業」

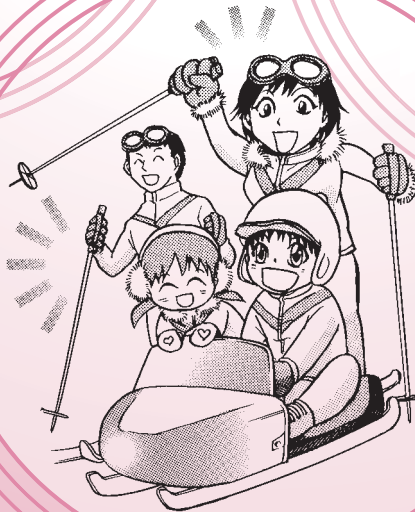
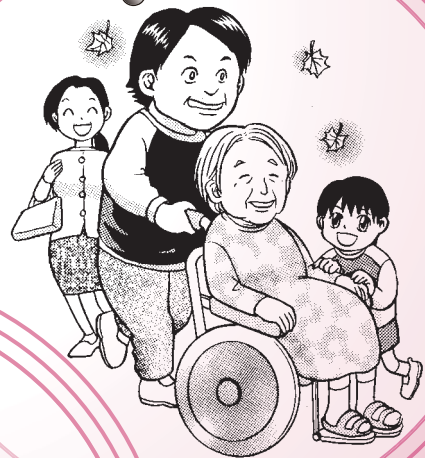
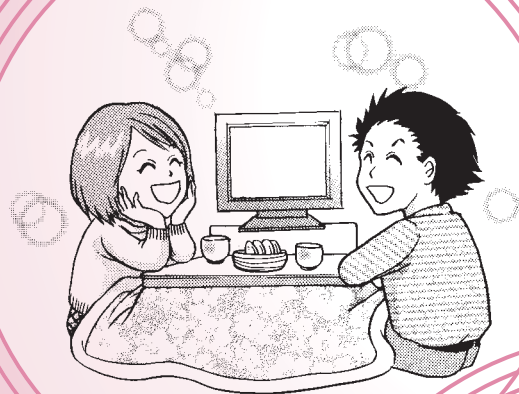
ってなあに？

とらい
あんぐる



さんちゃん

かくちゃん



男女共同参画ってなあに？

女性も男性もお互いを尊重しあい、ひとりの人間として自分らしく生きるために、性別による固定的な役割分担にとらわれることなく社会に積極的に参加していくことです。

男女共同参画キーワード

「ファミリーフレンドリー企業」 ってなあに？

「ファミリーフレンドリー企業」とは、男女ともに仕事と家庭を両立させ、多様で柔軟な働き方ができる様々な制度と職場環境をもっている企業のことです。

例えばどんな取り組みや制度があるの？

- 育児休業制度を法定（育児・介護休業法では子が1歳に達する日まで）以上の期間まで延長して、利用しやすい環境づくりをしている。
 - 短時間勤務制度を小学校就学前まで利用できるようにしている。
 - 出産祝金や次世代育成手当を支給して、会社全体で子育てを応援している。
 - 管理職を含めて育児休業制度を周知し、安心して職場復帰できるような環境づくりに努めている。
 - 出産時の父親の特別休暇を設定し、男性の育児参加を促進させている。
- など、それぞれの企業が実施できることから取り組んでいます。

愛知県では平成19年度から「愛知県ファミリーフレンドリー企業登録制度」を開始しました。登録企業の子育て支援に向けた取組状況を広く紹介することで、各企業がその取り組みを進め、職場環境が良くなるようにすることを目的にしています。昨年10月までに355企業が登録しました。

登録した企業側には、フレンドリーマークの使用、県のフレンドリー企業サイトで紹介、フレンドリー企業フェアへの参加、愛知県知事表彰…など、県からの支援や優遇のメリットがあります。



報告

日本女性会議2008とやま

2008年10月17日～18日、富山市で開催されました。「煌く人とひと、連なる峰々へ」をテーマに、女性も男性も互いに理解し合い、それぞれが一人の「人間（ひと）」として人生を輝かせ、煌きながら生きることの大切さを訴えました。

基調講演は、広岡守穂中央大学法学部教授が新しい時代を見据えたこれからの男女共同参画について語りました。

13の分科会は、子育て、食、性差、福祉、環境、国際社会など、さまざまなテーマに沿って開かれました。1月に北名古屋で講演した坂東眞理子さんは「女性と表現」のテーマで講師を務めました。

記念講演は、歌手の加藤登紀子さんが、さまざまな経験を通して一人の女性として生きてきた思いを熱く語りました。

日本女性会議は1984年に名古屋市で初めて開催され、順番に全国の市で毎年開催されています。男女共同参画にかかわる国内では最大級のイベントです。

北名古屋市で「愛知県ファミリーフレンドリー 認証企業」登録をした主な事業所を紹介します。

医療法人済衆館「済衆館病院」

職員が子育てしながら働きやすい環境づくりに取り組んでおり、院内託児施設は約30年前から設置しています。専門の保育士が24時間体制で常勤し、夜間勤務でも気軽に利用できるシステムになっています。原則は0歳から保育園入園までですが、家庭環境や勤務状況に合わせた柔軟な対応をして利便性を図っています。常時、全職員の1割の利用があり、働く女性の産休後の職場復帰をサポートしています。また、男性職員の利用もあり、男女とも安心して子育てと仕事の両立ができる取り組みがされています。

株式会社「真誠」

男女の育児休暇の奨励、職場復帰のサポートなどに努めています。結婚後も仕事を続けたいと願う女性社員が増え、育児休業取得も増えてきたといいます。そのため、育児休業制度の周知と、休業後の現職または現職相当職への復帰のための業務内容や体制の見直しなどに取り組んでいます。チームごとに話し合いながら残業が発生しないような体制をとり、社員一人ひとりの意識の向上とチームワークを重視して、仕事の効率化を図ることで、仕事と家庭生活の両立ができる職場の環境づくりに取り組んでいます。

仕事と家事・育児・介護などを両立させながら
働くことができる職場の環境づくりに取り組む
企業が今後さらに増えることを願います。

「自分らしい生き方」を意識しながら、
「ワーク・ライフ・バランス」を考えてみましょう。

※「ワーク・ライフ・バランス」

仕事と生活の調和（仕事と私生活を両立させて、充実した豊かな人生を送ること）一般的には性別に関係なく、労働者の仕事と生活全般のバランス（調和）をとろうとする考え方



講師

坂東眞理子氏

「女性と表現」分科会に参加して

ベストセラー「女性の品格」をテーマにお話がありました。
「女性が自分を磨き、自分らしく生きることが男女共同参画をパワーアップさせる」
女性の品格は生き方、考え方で育まれるものだということです。

- 流行に左右されず自分に似合った装いをする
- 堂々と、のびのびとした姿勢で歩く
- 誰にでも笑顔で接する
- 言いたいことを言葉によって正確に伝える
- 相手の言葉・立場を理解する
- 差別をしない
- いたわり、励まし、思いやりの心を持つ

など、外見と内面の自分磨きや、自己表現についての大切な事柄を多く学ぶことができました。(T)



「坂東眞理子講演会」開催 (市民による男女共同参画推進補助事業)

主催
さんか・クラブ

「北名古屋市男女共同参画プラン」が策定されたのを記念し、1月24日、北名古屋市文化勤労会館大ホールで「坂東眞理子講演会」が開催されました。

前内閣府男女共同参画室室長で昭和女子大学学長の坂東眞理子さんは、ベストセラー「女性の品格」「親の品格」の著者でもあります。自身の経験などから男女共同参画についてわかりやすく講演されました。



講演前には、男女共同参画の目的と取り組みを広く市民に理解してもらうため、北名古屋市職員による「北名古屋市男女共同参画プラン」の説明が行われました。

「ライフアップセミナー」開催 (市の取り組み)

と き 9月18日(木) 午後7時～9時
ところ 健康ドーム研修室

2回目

講 演 「年を重ねるごとに成功する」

講 師 伊東 眞理子 氏
(同朋大学社会福祉学部教授)

参加者22名
うち男性8名

内容

高齢になれば、体力・気力などあらゆる場面で大きな変化の時を迎えますが、考え方一つで楽しい人生を送ることができます。

それは「人生で今が一番若い」と認識し充実した日々を送る“サクセスフル・エイジング”(年を重ねることに成功する)。いくつになっても新しいことに挑戦したり、たくさんの人に出会って心に刺激を与えてくださいと力強く話されました。

感想

- これからも自分らしく自分のことからやっていきたい。
- 年を重ねることが楽しくなり元気をいただきました。

と き 10月11日(土) 午後2時～4時
ところ 健康ドーム研修室

3回目

講 演 「仕事」と「家庭」いいことわるいこと

講 師 高田 浩史 氏
(主夫 ワーキングファーザー)

参加者22名
うち男性6名

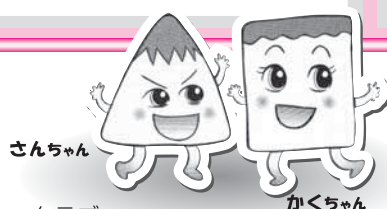
内容

「男は仕事」「女は家庭」という考えが当たり前とされてきましたが夫婦で話し合い役割を分担することでお互いの気持ちは分かり合えます。仕事も家庭もやってみないとわからない。一度きりの人生、両方を楽しみながら生きていきたい。

感謝の気持ちを言葉で表すことで新しい関係が始まると話されました。

感想

- 体験談や市のプランを具体的に話されよく分かりました。
- 男女共同参画というからには、男性の方にも理解をしてもらわないといけないと思います。意思の固まっている人にどうやって変わってもらうかが大変なことだと思いました。



編 集 さんか・クラブ
イ ラ ス ト 寝猫
発 行 北名古屋市教育委員会
生涯学習グループ 東庁舎 2 階
〒481-8501 (住所記載不要)
電 話 0568-23-6111
F A X 0568-23-3150
Eメール shogai@city.kitanagoya.lg.jp
ホームページ http://www.city.kitanagoya.lg.jp/

編集後記

今回は「ファミリーフレンドリー企業」のテーマで編集しました。

少子化対策の一つとして、保育所の充実、ファミリーフレンドリー企業の推進など、子育て支援は重要な課題です。

育児休業制度を利用する女性は約90%を超えるそうです。でも、職場復帰からの長時間労働や子育て支援が少ないことで仕事を続けることができず、出産前後で退職した女性は70%もあるとか。また、短時間勤務制度を導入している事業所は50%を割っているといえます。子育て・介護支援制度が確立され、利用しやすい制度の見直しが行われることを願います。

(Y)